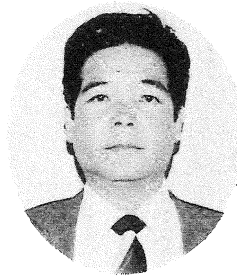


かわべ

村長就任のあいさつ



村長 大野 富士男

責務の重大さを痛感いたして
おります。

私は選挙を通じて住民本位の
肌の触れ合う政治を皆さん
と公約してまいりました。

一、住民との対話を通じて、
常に住民の立場で考え、村
民の総意を反映した和の行
政。

二、老人の体験を大切にし、
平和な家庭隣人愛に基づく
豊かで人情味のある人づく
り。

三、清潔で誠実をモットーと
した行政の推進。

以上の基本構想に伴う諸施
策を順次実現していきたいと
思っております。

高度経済成長の過程におい
て、地域住民の生活意識の変
化、また、それに伴う行政の

量の拡大とその内容の複雑
化、行政需要の増大がみられ
るのであります。

現況は、ご承知のように国

において臨時財政調査会の
答申に基づく、行財政の改革
が推進されておまして、地
方自治体をとります環境も非
常に厳しい情勢にあります。

その中であつて本村行政の運
営をいかにすれば村民の期待
にこたえられるか、私に課せ
られた責務を遂行するために
何ものにもくじけない強い決
意をもって、新しい地方の時
代を築くために精魂を傾注し
たいと考えております。

本村が当面とり組む具体的
問題は、三月定例議会におい
て昭和五十八年度の基本路線
は敷かれておりますが、今後
の諸施策を実現していくため
には財源の確保が最大の課題
であり、更に必要なことは私
を含めた職員の「和」であり、
行政に対する創意と工夫では
ないかと考えます。

'83 5 月

発行

河辺村公民館

☎(089339) - 2111

佐川印刷 KK

吉田町北小路

☎(08955) 2 - 0600

～村長・村議会議員の

新しい顔ふれそろう

さる四月二十四
日、村長、村議員
選挙が行われ即日
開票された結果、
身近な選挙を反映
して有権者数一、
五四六人のうち投
票総数一、四九六
票で、前回をやや
下回ったものの九六・
七七％という好投票率
で次の方々が選出され
ました。

◎村長

大野富士男

49歳 一期

人口のうごき

人 口 2,051人

男 1,040

女 1,011

世帯数 595戸

(昭和58年5月1日現在)

◎議員

議長 向井 保 59歳 四期

副議長 富永万作 70歳 三期

○総務民教委員会

委員長 森 良樹 54歳 二期

副委員長 中野光男 55歳 一期

委員 松尾一男 55歳 一期

委員 藤田藤好 55歳 三期

委員 佐伯範男 61歳 四期

委員 向井 猛 61歳 六期

○産業建設委員会

委員長 北川照正 56歳 三期

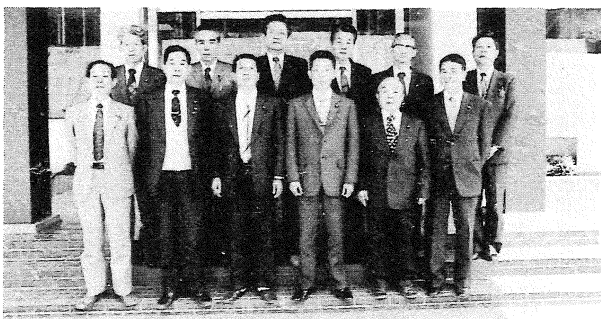
副委員長 本山清明 54歳 二期

委員 向井 保 59歳 四期

委員 富永万作 70歳 三期

委員 松尾 明 57歳 一期

委員 上西正綱 66歳 一期



4年間村政を担う12人の顔ふれ

任期中にせひ

果たしたいこと

「明るい郷土づくりに

とりくむ」

向井 保(五九歳)

限りなく要望に応ずるべきですが、わが村の実態から第一に農林業の振興を積極的にはかり、農家収入の増大と、われわれ住民がせめてわが村で働ける場(縫製工場・農村工場)等を着案して農外収入も得ながら生活の安定をはかり、真にやすらぎの家庭作りから明るい郷土作りをめざし努力いたします。

ご忠言、ご叱声をお願いいたします。

「既存道路の整備と

舗装に全力」

富永万作(七〇歳)

三期目の議会議員として、村民各位の信頼に答えるため私の信条を申し上げます。

一、既存道路の整備と舗装
二、村直営による農作業の促進
三、小学校の統合による義務教育の充実

「村政に直接

住民の生の声を」

中野光男(五六歳)

この度、有権者の皆様の暖かいご支援により、議席を与えて頂き、感謝を致しております。

いわゆる一年生議員として、おこがましく政治の抱負等を述べるだけの素養、経験もありませんが、一歩一歩勉強を積みながら村民の附託に応える努力を注ぎたいと考えております。

教育。産業。福祉。道路等

何れも大きな課題ではありますが、私は先ず、日常生活から生れてくる住民の生の声を、たとえ小さくても、確実に村政に反映さす、ささやかな使命を根気よく続けたいと思っております。

「和の行政に全力を」

松尾 明(五七歳)

このたび、村民の皆様方の御支援と御温情により、村議会の議席をお与え賜りましたこと、衷心から厚くお礼を申し上げます。

初心と微力でありますので村民各位のご期待に添えぬものとは存じますが、まず、

(一)派閥の解消

(二)農協、森林組合の行政指導と援助

(三)和の行政

右の三点に全力を投球して参る所存でございます。

村民各位の深い御理解と御指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

「派閥解消に取りくみ

円満な村づくりを」

上西正綱(六六歳)

人間同志の信頼感は政治の場でも最も大切なものである。我々議員は平均百名以上の代表であることを基本に考える時、派閥による言動をなくして、十分勉強し村民の要望に答えるべきである。

私は十二名の議員に提唱し、月一回それぞれに家回りに「研修会」を開き、近所の住民にも呼び掛けて村民一体となり、地区ごとに懇談会を行うことによつて正しい理解と認識が次第に深まってくる

と確信します。

一年間で全村の懇談会が出来る新しい試みとしてぜひ実行したい。

派閥の解消は村民代表議員の責任である。

やねばし

今年のゴールデンウィークは飛石となった上に天気が悪く子供の日などは雨のため子供サービスを計画変更や中止された家庭もたくさんあった事でしよう。

子供たちにとっては「恨みの雨」も親たちにとっては「恵みの雨」だったかも？

私はゴールデンウィークのうち一日は山歩きをしています。ある年は先生と二人で、またある年は一人で山にはいり、偶然に今まで見たこともない花に出合った時の感激はなんともいえません。たとえば「カタクリ」の花が、山奥の巨木の下でひっそりと咲いているのをみつけた時などは何もかも忘れてしばらくくみとれてました。また、シコクカツコソウの群生に出合ったときは思わずカメラのシャッターを押したこともあります。先生と一緒にいったときは、野草の名前を一つ一つ教えてもらって本当に勉強になりました。はじめて耳にする草の名前や方言でつけていた名前などたくさんありますが、最近特に気がついた事は自然破壊が河辺村の山野にものびてき

“明るく清潔な
信頼される村政を”

本山清明(五四歳)

皆様の暖かいご支援により、当選の栄誉に浴させていただき誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

任期中は村政を明るくし、誠実に公正に判断し、地域住民の代表として福祉の向上と豊かな活力ある村づくりの建設に尽したいと思ひます。

皆様のご意見を宝として受け止め、清潔で信頼される村政をめざして努力し、懸命に勤めることを誓いますのでご支援を賜りますようお願いいたします。

“後継者が育つ豊かな
村づくりを”

森 良樹(五四歳)

農業構造改善事業の導入によって、ほ場整備や農業基盤整備等で地域住民の意識を高め、生産性の向上をはかり後継者が育つ豊かな村づくりをめざしたいと思ひます。

横山地域は道路の舗装がおくれているため生産環境がよいとは思われません。生活道路の舗装について補助及び借債等の充分な予算をとりつけて、早急に完成させ地域の要望を充たしていききたい。又、

三区集会所前の防犯灯の設置とか、地域の人の細かな要望を一つ／＼取り上げて地域と密着した政治をしたいと考えております。

“明るい村づくりを推進”

藤田藤好(五五歳)

派閥の解消をして円満な村にし、村民の要望にこたえる村づくりをすすめて、又、農協や森林組合に対して援助と指導をしていききたい。

“診療施設の充実に努力”

北川照正(五六歳)

皆様方の暖かいご支援により、三たび議席を与えていただきましたが、この貴重な機会を村新体制の良き起点として一層の努力を注ぐ覚悟です。まず、特に激しかった選挙の反動でいつまでも感情の尾を引くことを避け、一日も早く村民一丸となつて総参加のできる態勢の確立を念願しながら……。

一、ますます高齢化をたどる住民の実情を直視した診療施設の充実

二、高校進学の負担を軽減し身近なものにするため、通信可能地区の寄宿舎設置

三、生活道路の改良舗装などを積極的に進めたい。

“私のやりたいこと”

佐伯範男(六一歳)

経済的に非常にむづかしい時代になってきました。

本村としては、まだ／＼実現しなければならぬことがたくさんありますが、村の財政等を考えながら村民の皆さんの要望に対応していききたいと思っています。

“村民と各種機関との
パイプ役に”

向井 猛(六〇歳)

皆様の御支援により六期目の議席を与えていただきました。よろしくお願い致します。

私は昭和五十年以来政治から遠ざかっておりましたが、その後経済は高度成長期から安定成長へと変化し、成長期に肥大した行政組織の贅肉を落し、現代に対応出来る小さな政府(行政機関)を目ざせと世論は言っています。

国家が福祉国家としての性格を帯びて来るにつれ、国による全国的な一定の行政水準を維持する必要が次第に増大し、いきおい中央集権的傾向が強くなりつつあります。そこに自治権擁護の必要性が強く叫ばれておりますのも当然であります。

私は年も重ね政治感覚も鈍

化しておりますが、前述したような点をよく勉強して、村民に対し最少の経費で最大の奉仕が出来るよう議員として最善をつくします。

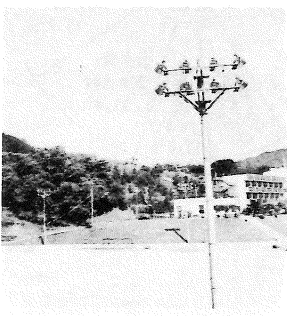
機会ある毎に議会報告等を行い、村民と各種機関のパイプ役になり、議員として出来る範囲の努力を致します。

夜間照明施設の 利用者が急増

昨年七月二十九日、河辺中学校グラウンドに夜間照明施設の抜本的な改修工事が行われ、完全な照度が得られるようになりました。

三月から十二月中旬までの使用期間中は、施設利用の登録団体が連日のように利用しており、年ごとにスポーツ熱も高まりを見せています。

(なお、この施設は国民年金還元融資により、事業費九百四十万円で施工されたものです。)



ています。農林道の新設ではなく、心ない人たちによる破壊である。

エビネラン、クマガイソウ、スズムシソウなどは昨年あったところへ行ってみると、根こそぎ全部なくなっていることがある。自然に育つ野草は自然環境の中でこそ本当の美しさがあると思ひます。

このままの状態が進めばあと何年もしないうちに河辺村の山からめづらしい野草の姿をみる事ができなくなるような気がしますが本当に残念でなりません。何とかして保護する方法はないでしょうか。方法はその人の良心にまつほかないかもしれませんが、山にはいる一人一人が本当に野草の気持になつて考えればそういうことはできないと思ひます……。

山奥の巨木の下でひっそりと花をつけている野草の力強い生命力に本当に頭が下ります。



(K)

- (カ)民俗資料の整備
 - (キ)郷土芸能の保存伝承
 - (ク)文化財続本の発行
 - (ケ)文化財めぐり
 - (コ)盆おどり大会
- ◎同和教育
- 国民的課題である同和教育を正しく理解するとともに、差別の現実から深く学び、家庭・学校・社会の連携を密にした学習活動を通じて、すべての村民が取り組む同和教育を推進する。

- (ア)学級・構座での学習会
- (イ)校区別同和教育懇談会
- (ウ)地区別同和教育懇談会
- (エ)館報、資料配布による意

植物シリーズ(1)

「キランソウ」



山地や道端に普通に見られる多年草である。葉が群がって四方に広がるので、ジゴクノカマノフタとも言い、「僧の指す地獄の釜の蓋が咲く」という句がある。四、五月の頃濃紫色のシソに似た小花をつけ、「きらん草古代紫展げけり」といった風情がある。わが国では古くからの薬草で、イシャダオシ、イシャナカシ等の方言がある。日干し

した全草を、せき、解熱、健胃等に用いた。中国では、同じ物を白毛夏枯草と称し、結膜炎、るいれき等に用いると言う。また食草でもあり、兵庫県上郡の牡丹寺では、先祖の供養と身の健康を願って、姿のままの天ぷらを食べる風習がある。

(東)

◎社会体育

識変容
スポーツ・レクリエーションの日常化を進めて、地域連帯意識づくりと健康づくりをめざす。

- (ア)五 月 親子レクリエーション
- (イ)五 月 クロケット大会
- (ウ)七 月 バレーボール大会
- (エ)八 月 ソフトボール大会
- (オ)九 月 県民体育祭郡大会
- (カ)十 月 十九回村民運動会

- (キ)十一月 高齢者運動会
- (ク)十一月 卓球大会
- (ケ)十一月 バトミントン大会

会

随時 〓 クロケット講習
ミニソフトバレー
ミニテニス



同和教育シリーズ (13)

問 封建的な身分制度であった士農工商の身分は改められ、四民平等となったが、人権を認めあった差別のない体制がつくられたのでしょうか。

答 明治二(一八六九)年、それまでの武士の特権は廃止されましたが、皇族のほか大名・公卿を華族、武士を士族と

明治政府は、天皇中心の中央集権国家を確立するために、明治十七年に華族令を発し、公・候・伯・子・男の爵位を定め、その位を世襲とする特権身分をつくり、新しい形の身分的差

特産物として期待 シヨウガの栽培始まる

シヨウガは投機性が強く多小の危険性を伴うが、これに優る換金作物はないと判断して試験栽培を開始しました。種子の確保が問題でしたが、他の条件は克服できる見込みが立ったので、栽培希望農家のうちから選出し栽培を委託しました。

値段はキロ当り三〇〇円

別を残すことになりました。この身分差別は、四民平等になったはずの一般民衆の間にももち込まれました。明治四年の戸籍法に基づいて、翌五年つくられた壬申戸籍をみてもこのことがよくわかります。

この戸籍には、士族・平民など身分や職業、渡世が書き込まれていました。身分が、名前の上につけられ、戸籍に記入されたということは、身分的差別の考えが容易に抜けなかつたことを物語っています。

同和地区の人々は、明治四年に解放令が出たにもかかわらずこの戸籍に「新平民」とか「元えた」という賤称が記載され、そのことが差別に利用されて、その後長らく人権侵害に苦しんだのです。(昭和

六〇〇円で、一反当り収穫量四tとして一反当り一二〇万円を予定しています。失敗もある程度は覚悟して成功するよう各関係者のご協力をお願いします。

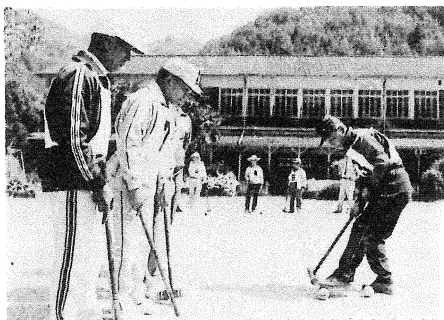
種子代が高価なため、前村長であった稲田三温氏のご芳志による「農業振興基金」から無利子で貸付けてシヨウガ栽培の真剣な取りくみをおこなっています。

四十三年自由閲覧を禁止された

明治二十三年に公布された民法では、居住地ごとに家と戸主を定め、その戸主が家に関する一切の責任と権限をもつものでした。これを戸主権といいますが、戸主と後継ぎには徴兵免除の特権を与え、その支配権を強めさせています。そして戸主を頂点とする封建的な家父長制が固く守られて、家庭の中にさえある種の差別が残されました。

明治政府の諸政策は、近代国家発展のもとをつくりましたが民衆の経済的援助や福祉の内容に欠け資本家や地主中心の改革となり、さらに貧富の差を拡大し、差別や封建的な関係、因習は、残されました。

(河辺村同和教育協議会)



頭脳プレイを見せる高齢者

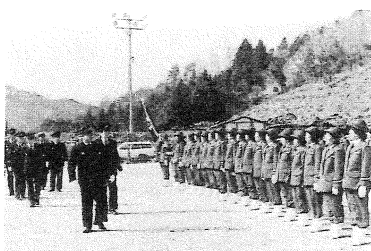
男女別のリーグ戦で優勝を争い、準備された議長賞、教育長賞のトロフィーを目ざして、敵味方のかけ引きなどの作戦・頭脳プレーが展開され、見物者からも作戦指令が飛び交う一コマも見られました。しかし、試合終了後は和気あいあいの懇親会が開かれて楽しいひとときを過ごしました。

第1回高齢者クロッケー大会 大伍の男女共に優勝

五月晴れの十二日、民俗資料館広場において高齢者ら約六〇人が参加して、第一回クロッケー大会が開かれました。四地区の代表八チームがせいぞろいして午前九時から開会式が行われ、大野村長の来賓挨拶に続いて熊野選手の宣誓で試合開始。

結果は次のとおり
 △男子▽ △女子▽
 一位 大伍 一位 大伍
 二位 北平 二位 坂本
 三位 坂本 三位 植松
 四位 植松 四位 北平

婦人防火隊に 制服そろろう！



ピリッとひきしまった隊員たち

去る三月二十三日、北平上地区の婦人防火隊（福宮八重子隊長以下三十五人）にその制服が新調されました。

この制服等は、自治振興宝くじの助成を受けて配備されたもので、明るい紫色のパンタロンスーツに同色の帽子、白いブーツという機能的な装いで隊員の間でもなかなかの好評。

このほか、作業車や消火に威力を発揮する小型動力ポンプ、チェンソー二台もそろい、初期消火に期待されています。

短歌

寒がりの猫うたたねする陽だまりに
 桜散りつつ春は深まる
 エンジンのうなり異なる草刈機負いて
 栗の下草なぎゆく夫婦
 似しということはうれしき似しといふ
 ことにまどいき裏のことばうく
 山桜いつしか花期は過ぎしとも
 若葉見映えて初夏の風招ぶ
 我が夫の帰り来ませぬ此の宵は
 心はずみぬ乙女の如く

国井 ミネヲ
 戸田 薫明
 佐伯 君子
 田辺 照代
 関井 恵美子

※六〇八月の日曜・祝日当直医表

月 日	曜日	医院名	電 話
六月 五日	日	前田 医院	(〇八九四四) 二八五九
六月 十二日	日	松浦 医院	(〇八九四四) 二七七六
六月 十九日	日	藤本 医院	(〇八九四四) 二五六一
六月 二十六日	日	植木 医院	(〇八九四四) 二二一五
七月 三日	日	高橋 医院	(〇八九四四) 二二〇一
七月 十日	日	曾根 医院	(〇八九四四) 二二八〇
七月 十七日	日	芳我外 医院	(〇八九四四) 二二五六
七月 二十四日	日	宝来 医院	(〇八九四四) 二二四八
八月 三十一日	日	小川 医院	(〇八九四四) 二二八一
八月 七日	日	古川 医院	(〇八九四四) 二四〇七
八月 十四日	日	町田 医院	(〇八九四四) 三〇二一
八月 十五日	月	成田 医院	(〇八九四四) 七〇〇六一
八月 二十一日	日	前田 医院	(〇八九四四) 二八五九
八月 二十八日	日	松浦 医院	(〇八九四四) 二七七六

※救急病院

曜日	病 院 名	電 話
月	菊原外科 医院	(〇八九三二) 四一四六
火	大洲市立 病院	(〇八九三二) 四一五一
水	加戸 病 院	(〇八九三二) 四一五一
木	大洲中央 病院	(〇八九三二) 四一四五

消 息

自 58・1・11
 至 58・5・10

お誕生おめでとう

栄 父 富美雄 北地弥生
 川上 靖 塚野龍平
 寺數 信幸 梅木亜寿香
 末ながくお幸せに

♡ 吉田 満 (川上)
 ♡ 高岡さなえ (小田町)
 ♡ 露内 久志 (露内)
 ♡ 宮岡恵美子 (内子町)
 ♡ 永田真喜男 (日其川)
 ♡ 鎌田 由美 (野村町)
 おくやみ申し上げます。

榎 徳石 音松 八〇歳
 日除 梅林イソノ 八五歳
 坂本 小田 保吾 八八歳
 三久保 弘田 高薫 七七歳
 熊の坂 河野 宗吉 八四歳
 坂本 松尾 忠志 六三歳
 上大成 浦野きくみ 二五歳
 川上 野次 数好 八〇歳

